

## 第2回 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット (1月26日)

2013年1月26日(土) 13:45~17:45

### 【司会：加藤ひとみ元埼玉県職員】

皆さん、こんにちは。地元の皆様による霊山太鼓をおきき下さい。

### 【霊山太鼓保存会】

会場のみなさまこんにちは。伊達市に多くのところからおいでいただいていると聞きました。

私たちはご紹介いただいた、伊達市ですが、霊山(りょうぜん)町という東の方、相馬と福島の境にあります。霊峰霊山という山、その霊山のふもとからやってきました。8400人の町ですが、太鼓の打ち手は、1000人近くいます。

霊山太鼓は歴史のある伝承太鼓。心の底に、ぐっと響くような懐かしい響きを皆さんにお届けできたらと思います。霊山太鼓は大きい太鼓が1つ、小太鼓が1つで一組。太鼓の数が60数組を超え、今は70組になっています。そういった中で、代々伝わっている、おじいちゃんから息子へ、息子から孫へ、親子3代でたたいています。霊山太鼓の特色は、太くて短い桐のバチを使います。本日は、同じ法被を着ていますが、それぞれ法被があります。8月の第1日曜日に熱い祭りがあります。

実は、東日本大震災の時に、太鼓がたたけなくなった時期がありました。昨年あたりから、地元に来て叩いてください、福島元気になるよと言われるようになりました。私たちはそこで太鼓をたたいて、元気をもらったよ、と言ってもらえるが、逆に応援してもらっていると、太鼓をしていてよかったなと思う。エネルギーをいただいているところです。

本日は、首長連合サミットですね。全国に羽ばたいていく公務員の皆さんの集まりだと聞いています。昨年は、東京マラソンから始まり、香港など行きました。今日は、兵庫県の方も集まっていると聞きました。姫路市にも行きました。

全国に羽ばたいた、伊達市を代表する太鼓になれば。私達は、幸せな太鼓、復興太鼓とも言われています。日本の太鼓。皆様のご活躍をご祈念して、演奏させていただきます。日本の心、霊山太鼓です。ごゆっくりお聞きください。

(太鼓演奏)

### 【司会】

霊山太鼓のみなさん、ありがとうございます。太鼓は聞くよりもやったほうが良いですね。すごくストレス解消になるようです。こういう町は仕事の悩みも、家庭の悩みもないのではないかと思います(笑) どうもありがとうございます。

皆さま、吹雪の中をはるばる伊達までおいいただき、ありがとうございます。

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットを開催させていただきます。

首長連合代表の古川佐賀県知事より、ご挨拶をお願いします。

## 【古川知事】

去年は、愛媛県松山市で行いました。

初めてサミットを行いました。全国から11人の首長さんから来ていただいて、100名くらいの参加者がありました。この手の集まりは、1回目はやれても、2回目で、それ以上に盛り上がるのか、どうもぱっとしないのか、1回目以上に大事な会です。

雪の中、11人の首長さんに来ていただきました、といたいのですが、高岡の市長は富山県の高岡市がすごい雪で高岡から脱出できないということで、バーチャル参加。

本日は、10人の首長さんにご参加いただき心から感謝いたします。全国から集まった皆さん、多くは、地域を飛び出す公務員ですが、全体で今年は、150人くらいだと伺っています。

地域に飛び出す公務員、それを応援する首長の輪が広がっているということです。

お手元のパンフレットの中に欠席の首長さんからのメッセージが寄せられています。通常、紋切り型が多い中、見て頂いたら分かるように、内容の違うコメントが多いです。欠席されても、それぞれの地域でこういうことをやっているということ、それを伝えたいという方がいます。多くの首長さんから、心のこもったものをいただいて、嬉しく思っています。

伊達市でやるということで、ウエルカム鼎談があります。首長さんのサミットとなっています。今日も、主役、お客さんではなくみんなで宝物を持ち帰れるような、2日間にしていきたい。

事務局の皆さんは、大変な苦勞をしました。楽しみながらやっているなと思っていましたが、いろんな意味で、大変だったと思います。ありがとうございました。

地元伊達市の皆さんにもお世話になりました。すばらしい会場を使えるということで、ここにきて良かったと思っています。

今日からの2日間、皆さんにとってよくなるよう心から期待したいと思います。首長連合の意味は、後ほどのサミットで話したいと思います。

ここで、感謝のご挨拶にいたします。ありがとうございました。

## 【司会】

ありがとうございました。仁志田伊達市長さんから、ウエルカムスピーチをお願いします。

## 【仁志田伊達市長】

紹介いただいた地元伊達市の仁志田です。皆さんには遠いところからこのような天候にもかわらず、心から歓迎いたします。

5つの町が集まって、伊達市を構成していますが、もともと、伊達郡の町がまとまった。後ろに、伊達政宗の絵があります。伊達政宗といえば仙台だと思うかと思いますが、全国

の皆さんのほとんどですが、まあ、その通りですが、初代ではない。17代。もっと先祖がいるということです。先祖の発祥が伊達、ということです。

伊達氏は常陸の国から源頼朝の戦いがありました。800年前。厚保檜山の戦い。そこで、武将が、彼が、源頼朝から恩賞をいただき、名前を、伊達朝宗というふうに変えました。この地に住むことになった。伊達郡の名前を取った。それが、伊達家のルーツです、それから数えて、17代目が正宗。そういうルーツを持つ伊達市です。

発足したばかりの伊達市。いま、放射能の被害の状況下です。皆さん心配することはありません。ここの放射能は高くないです。除染も一生懸命やっています。伊達市は、これ、線量計。皆さんつけていませんが、心配することはない。

市民は確認のためにつけています。1年間やってみて、1ミリシーベルト、これを越えない。であれば、心配ないということを確認するためにやっています。皆さんは、今日と明日ですから、大丈夫です。累積線量計ではかります。

本当に、そういう意味では、伊達市に来ていただいたのは、感謝申し上げたい。歓迎に意を表し、首長サミットが成功裏に終わることを祈念します。歓迎のあいさつとしたいと思います。ありがとうございました。

## 【司会】

ありがとうございました。

皆様の椅子に、かっこいい、伊達の絵の入った袋に、地元から桃のジュース、千葉県酒々井町から酒々井の水、愛媛県から伊予蜜柑、など全国の皆さんからお土産を頂いておりますのでご紹介させていただきます。

(階段上に紫色の座布団4つ)

それでは、これから落語、というわけではないですが(会場：笑)、鼎談といきたいと思えます。出演者の方、どうぞ。

本日会場となりましたここ保原小学校は、2003年から旧保原町と福島大学、地域の方々が一緒になり作ったコミュニティスクールで、教育理念と建築が一体化し、あちこちにユニークな工夫があふれた素晴らしい小学校です。従って、講堂にも階段があります。これを活用しない手はないということで座らせていただきました。

先ほどから喋っています私は、埼玉県の元職員。無事に県庁を卒業し、今は民間企業で働いています。加藤と申します。宜しく願いいたします。

それでは、御参加の皆様を御紹介いたします。

地元開催市、伊達市市長の仁志田昇司さんです。

福島県会津坂下町町長の竹内昶俊さんです。

地域に飛び出す公務員ネットワークのボス、代表の椎川忍さんです。

## 【司会】

宜しく願いします。なぜ伊達市でサミットをやることになったのか、ということから

始めたいと思います。一昨年 of 東日本大震災。仁志田市長さん大変だったんですよね。

#### 【仁志田伊達市長】

一昨年ですが、3月11日ですね。3時頃ですかね、ものすごい、大地震でした。私は宮城県沖地震も経験しているのですが、ものすごく長かったです。

地震は経験がありましたというのも変ですが、被害調査から始まり、そのうち、テレビを観ていたら、原発がおかしいということになり、60キロも離れているから、俺らは関係ないな、ということで、浜通りの方から避難してくる、ということで、受け入れにあたった。その頃は、放射能が来るなんて思っていないので、はかる機械もなかった。

シーベルトとか、ベクレルといわれても、まったく分からなかった。3月20日にスピーディがでて、原発から、雲が流れているということでした。

これは、うちの方にもきているのでは。そこから始まった。しかし、測定器がない。測ったのは、3月20日くらいですね。

これは、あきらかに、高い。どうしようもない。そこからいろんなことがあった。除染という言葉は、最近では当たり前に使っているが、その当時はまったく分からなかった。

除染という言葉、実際に、こういうことかと分かったのは4月半ばですね。

チェルノブイリの報告書を読んでいると、土を掘ったりすればいいということが書かれていた。それを除染というんだと。そういうところから、てんやわんやのうちに始まった。組織的な取り組みということで、学校をはじめとする、放射能の除染を行っている、というところですよ。

#### 【司会】

この小学校も被害があったとか。

#### 【仁志田伊達市長】

この小学校は、建て替え中でした。旧校舎は大きな黒板が倒れ掛かったり、あとで見に行きましたら、よく怪我をしなかったなと思ひ、先生に聞いたら、地震が少し止まった間に逃げた、というのです。

職員に地震計を調べさせたら、3回来ていました。5強、6弱、5強、その間に逃げたらいいんですね。地震が去っても校舎は使えない。そこで、中学校など3つに分かれて分散授業をやった。バスを使って送り迎えした。1年後、この校舎が翌年24年の3月に完成し、768名が揃って入ることができた。

梁川小学校も同時に倒壊したのだが、今も仮設校舎です。地震の対策の渦中にある。梁川小学校も新築すべくすすめている。

ここの校舎も当時は工事中でしたが、放射能が降りまして、数値の高い部分があったため、全部削りました。削って除染をして、新たに、工事を続行した。

#### 【司会】

市長さんがサラッとおっしゃると、なんでもないように聞こえますが、広報誌を見せてもらったらすごさが伝わってきました。(広報誌を示す)

2011年5月号の広報誌です。すごい迫力でしょ。飲み水を運ぼうとして、ポリタンクを持って、階段を歩いている男の人の背中を写している。私、読んで泣けました。広報誌で泣けたのはこれが初めてです。すばらしい広報誌です。

これが2012年4月号。(1年後の広報誌を示す)。1年後の3月1日に、この保原小学校が完成して、3つの学校に分散していた子どもたちが集まってきました、という特集号です。

伊達市の広報誌は福島県で一番らしいですが、みんなに読んでもらいたい。

「笑顔を再び」というタイトルや市民の顔がいっぱい出ているすばらしい広報誌です。

遠くにいると、なかなか分からないものですが、現地に伺うと分かることがたくさんありますね。

竹内町長さん、大変申し訳ありません。実は会津坂下町も行ったことないのですが、震災はいかがだったのですか？

### 【竹内会津坂下町長】

今日、会津地区から出てきました。朝起きたら、60センチくらい雪が積もっていた。車で、磐越自動車道、新潟からいわきまで通っている高速道路があるのですが、途中で降ろされまして、磐梯山、土湯峠を越えて、猪苗代から福島市に入ってきたんです。2時間ちょっと。普通は、1時間ちょっとくらいで来るのですが、2時間半くらいかかった。そういう場所です。雪の多い場所です。

地震のことなのですが、仁志田市長もおっしゃったように、会津地方は、そんなに被害はなかった。揺れについては、5弱だった。5強とか。周波の長い揺れがきまして、庁舎でお客さんと一緒にいてすぐ収まると思ったら、また来たんです。周りにあるものが倒れて、柱につかまっていた。

外に出てみたら、私以外の職員はみんな外に出ているんですよ(笑)。それは冗談ですが、それくらい揺れが強かった。40年くらい前に建てた建物ですから、耐震ではない庁舎だったが、よく壊れなかった。福島県でも、40年以上経っている公共公舎はある。昔の建物は横の揺れに、地震に対して強いんだな、と改めて感じさせられた。ただ、それでも、グラウンドにある土蔵とか手入れをしているのはいい。手入れをしていない、江戸時代のなんかは、壁でも、何でも下の方までおこった。300棟ちかく土蔵が壊れました。普通のうちは壊れない。

3.11があつて、12日に、原発の水素爆発があり、その次の日に、13日、14日と、双葉郡内の葛尾村の町民がいきに来た。私どもの地域は会津若松市の隣なので、車で10分くらい。

会津には避難する場所がないというので、双葉郡の人は、まず、伊達市さんで、その後はこちらに来て、一時避難となった。私の町で受けますと言ったら、どっと来た。大体、4、5ヶ月いらっちゃって、別のところに移っている。

葛尾村の自治体の長に、オフサイトセンターから連絡があり、夜の9時に全村民を集めて、避難した。右往左往した町もある。

放射能の流れによって、飯館とか、会津の方にはぜんぜん来ていない。除染しなければならない状態です。ホットスポットもある。

**【司会】**

会津にもあるんですか。

**【竹内会津坂下町長】**

おコメの検査を全袋しました。今年も土壌の入れ替え、米の検査もやらないといけない。食品の安心安全を全国に供給できるようにしたい。

**【司会】**

現場の自治体は勿論、全国の自治体の職員の方々は大変だったんですよね。埼玉にも、双葉町の方が2000人來られていました。住民が全国、バラバラに散らばってしまう。そういう人をどうしたらいいのか、行政サービスをどうしたらいいのか。今まで経験のないことだったのではないですか。椎川さん、総務省も不眠不休だったのではないのでしょうか。

**【椎川代表】**

当時は官邸で説明をしていた時にグラグラしてきた。官邸は倒れるとは思わなかったが、すごい地震だったと思いました。震源が東京なら、倒れるかも。エレベーターが止まってるし、防災服に着替えて、2日間泊まり込みでした。

援助法は阪神淡路大震災のとき、各省が総務省と個別に協議して作った法律。

阪神淡路なみに、今回の東日本大震災並みの被害でも全部発動する、ということ。一般基準しかなくて、避難者は1週間なんてなっている。

特別基準は、知事と厚労省との個別協議となっているが、できっこない。これも、ステージによって3ヶ月、半年とかで発動していく。

災害日本なんだから、そのくらいのことを、制度化すべきだと検討してもらっているが、予算は、補正予算。交付税を増やして、特別交付税といって、地方負担無しでできる。それから、掛け合って、病院の復興はこれではダメだ。最低限、この制度でダメだったら、もう一度、予算取りし。それもダメで、いろいろやっているんですが、ああいうところは、もっと迅速に動かないといけないと思う。

今の事象に対して法律がついていけるか、ということ。元鳥取県知事の片山さんが大臣だったので、鳥取の地震の経験もあって、住宅ローンなどの支援も、いろんな制度ができた。わりと詳しかった。完璧を待たなくても、国会は県議会のように何を出しても良いんだ、予算も法律も、どんどん出していいんだ、という考えだった。

連休中に審議して、休みの真ん中に出した。そういう意味では、みんな頑張ったのではないかと思う。

**【司会】**

私も公務員だったから分かりますが、公務員はなんとなく、組織や手続きや、日常仕事の癖が抜けない。いざという時、非日常への対応は、まだまだ下手な感じがします。今回は地方自治制度とか自治体のあり方に、大きな課題を投げかけた震災だったのではないか

と思います。

仁志田市長さん、全国の自治体から応援とか、いらっしゃったのでしょうか。

**【仁志田伊達市長】**

地震直後に、出雲市から、10トントラックがきた。どうやって遠いところからきたのか。なんで来てくれたのか、さっぱり分からなかったが、実は出雲市に、富士通のパソコンを作っている工場がある。企業は早いなと思った。

伊達市の富士通が、依頼をして部品を取りに来るといふ。じゃあ物資を持ってきてくれと出雲市長に言ったら、市民に呼びかけて、市民の人が、みんな協力してくれたのを、トラックいっぱい、米だとか、炭だとか、すぐは使えないものもあったがいろんなものを送ってもらって、ありがたかった。

各地からご支援をいただき、人的支援をいただいて、前例がないということはこういうこと。未曾有のことですね。

地震は1000年前にもあったかもしれないが、地震はともかく、放射能は初めてだから。国に聞いても、ようするに、県にきいても、手探り。とにかく、やってみようということでした。

**【司会】**

今回の震災が阪神・淡路大震災と違うのは、被害の規模がやたら広がったということ。阪神の時も、芦屋市長が困って、隣の市長に電話したらつながらなくて、隣の隣でやっとつながったとおっしゃった。今回も遠くの自治体との連携が非常に見えた、ということですね。

会津坂下町は、よその自治体がお見えになった、というのではなく、むしろ出て行くほうだったのですか。

**【竹内会津坂下町長】**

他から応援にきたというのではない。県内17の市町村は、県内に、応援に出かけている。特に、一番に何が頼りかというところは水ですね。給水車。持っているところは給水車を出した。津波のところばかりではなく中通りも水道管みんなダメになっており、ほとんど、そういうところに給水車を送った。

地震ではさほどの影響はなく復旧も早いと思うが、一番困ったのは原発の問題で、お医者さんはよく知っているからこそ、みんな逃げていなくなった。

**【司会】**

またそれは。

**【竹内会津坂下町長】**

いやあ、よく調べていくと、そうではなかったんだけど（笑）。

**【司会】**

椎川さん、自治体の横の連携、いかがですか？

**【椎川代表】**

今回、NPOや市民団体に加え、公務員はいち早く支援に動いたと思う。

統計的に調べたことはないが、地域に飛び出す公務員ネットワークの多くのメンバーの方が、支援に手をあげた。私も何ヶ月か行って来た。2300人の組織の中で、あれだけ情報があつたから、行った人が多かったのか。

その人たちが中心になって、翌日には被災者支援情報ネット、というのを立ち上げた。各サイトにあるものを分類して寄せ集めた。公務員なので確認して、このサイトは大丈夫、ということで、集めたので、大変信頼性が高くアクセス数が多かった。賞をもらった。この中にも関わった人が多くいらっしゃると思います。

東北オフサイトミーティングの方も、あっちにいこうか、こっちにいこうかと、時間がかかるので、自分たちで横のネットワークで個人として助けにいこうと実行した。

普段から地域の方々と接して活動している人は、早いんだなと思った。

#### 【司会】

おそらく、「地域に飛び出す」というのは象徴で、役所の建物の外に世界が広がっていることを知る公務員は、全国を視野に入れて動くことができるということではないでしょうか。仁志田市長さん、伊達市にも元気な公務員がたくさんいらっしゃるのではないですか。

#### 【仁志田伊達市長】

今回の災害では、いろんな被害を受けたが、災害の中にも、いくつかの、良いこともありました。我々の町は、5つの町が合併して8年目。会議をやっても、彼はどこ出身？というのから始まる。

今回の災害はそんなこと言ってもらえない。これやれ、あれやれ。みんなすぐやる。地域に飛び出すだけでなく、特に給水は大事で、朝から夜まで、給水している。飲み水だけではなく、特に、トイレの水は問題です。それも、みんなで相談して、飲み水は限られているから、一人3リットルとか5リットル。トイレは、10、20リットルとか。そこで池の水を汲んできて、そこから自由に持って行ってくれとか。

極めて、現場チックなそういう中で、地方公務員は、現場第一線。その災害では、好むと好まざるに関わらず、やるしかない、という。

それは、非常に今日の会議ではないが、計画したわけではないが、そういうふうになっちゃった、というか、非常にいい経験。このように思っています。

#### 【司会】

津波で、最後まで住民に避難を呼びかけた末、自分が流されてしまった町の職員、公務に殉じた消防隊員のことが話題になりました。公務員は、悪口を言われることが多いですが、実は最後まで公務に責任を持つのが公務員だと示した災害でもありました。会津坂下町にも頑張る職員がいっぱいいらっしゃるのでしょうか。

#### 【竹内会津坂下町長】

たくさんおりまして、自分たちで、計画を立てて、自分たちで取り組む。例えば被災者の受け入れなんかは、どんどん、いつの間にか、やってるんです。



小学校の体育館で、冷えないように、ちょうど3月ですから、会津、寒いんです。浜のほうから来る人が「寒い寒い」と言っていたので、石油ストーブをいろんなところから集めてきていました。ところが、石油がないんですよ。どうしようかということで、職員が悩んだ。どこかにあるだろうと。タンクを見つけて、ドラム缶を見つけて、駆けずり回って、暖をとらせた。

食べるものもおにぎりでもなんでも、あったかいものを食べさせたいねと。たまたま、うちの方に、4月から給食センターが、開所するばかりになっていて、試運転に入っていた。じゃあ運転しようと、とりあえず、あったかいご飯を出してあげた。それが一番よかった。

**【司会】**

温かさは心にしみますよね。

**【竹内会津坂下町長】**

職員の機転がきいて、相手の心につながっていく、非常に、感謝されてましたね。

**【司会】**

椎川さん、公務員OBになりましたが。地域に飛び出しちゃった公務員OBの今後は(笑)。いろいろ出来そうですね。

**【椎川代表】**

そうですね。公務員は、すごい人材供給源です。現役の時は、仕事が忙しかったり、子育てが忙しかったり、われわれの年代だと親の介護も出てくるが、世の中のためにやっていく、というのが、公務員の本質。

OBになっても、70、75、極端にいうと、90歳くらいまで元気な人もいる。培ってきた能力を、地域に還元すれば、すばらしい社会になるのではないかと思います。仕事をやめて、毎日ゴルフや酒飲みでは、自分の幸せにはつながらない。

社会貢献は自分の幸せにつながる。みんなが活動してくれるといいなと思います。

**【司会】**

椎川さんもやめてから全国を飛び回っているとか。

**【椎川代表】**

今週も、あちこち行っている。移動時間が多くて大変です。

**【司会】**

地域はいいけれど、ご家庭は大丈夫ですか？(笑)

**【椎川代表】**

子どもは大きくなっているから問題ないです。家内は音楽家なんでお互いに忙しくしています。

**【司会】**

椎川さんが書かれた全国に飛び出す公務員の事例集が会場にもありますので、せっかくなので宣伝をしてください。

**【椎川代表】**

宣伝していいですか？「緑の分権改革」と「地域公務員ハンドブック」。

外からプラスしてノウハウとか、資金とか、引きこんで地域の活性化ができると思う。ICTの力もあるが、横のネットワークで解決できると思う。政権が又交代したし、少し分かりにくいので、名前は変えていくのかな、と。

地域の活性化は、地域にあるものを活かすしかない。民間の人は、もちろんやらないといけないが、一番ノウハウと人脈を持っているのは公務員なんです。使わないのはもったいない人財なんです。

企業経営では非常に非効率。地域経営はそういうところに人材を投入することが必要。

### 【司会】

仁志田市長さん、先日、BS フジ・プライムニュースに出てらっしゃいましたね。放射能除染の不適正問題が中心でした。会場の皆さんも伊達にいらっしゃったのですから、除染にいち早く取り組んだ伊達市。伊達市が一番うまくいっているのはなぜか？という現場をぜひ明日しっかりご覧いただきたいと思います。

### 【仁志田伊達市長】

先行したのは、そうっただけ。背に腹は変えられないからやった。3月31日に線量を測って、我々はとんでもない高いところで仕事をしていたなど。

4月に入ってからは大人もさることながら、子供が、放射能の影響が大きいので、外に出していいのかと。マスクをしたり長袖を着せたりして、通学するということだった。

学校でも窓を開けない方がいいとか、そういう状況で、何かしなければならぬ。チェルノブイリの報告を読んで、それはなんだ、という感じですね。それを実験した。やってみたら良かった。

さっきの椎川さんの話じゃないけど、市長に会いたいと言う人がいるということで、田中シゲイチさんがリュックをしょって、普通の登山に行くような格好で来た。その人が、原子力の仕事を長年して、定年退職しているけど、こういう時代になったので、こういう状況は慙愧に耐えない。なんとかお手伝いしたいということだった。

飯館村の線量の高いところで、除染をやっている。「先生お願いしますよ」ということになった。田中さんが伊達市に来たのは、伊達小学校の卒業生だったからとのことであつた。お父さんが転勤族で、高校は会津に行ったとのこと。そして仕事が原子力関係。

田中先生が現場に入って、先生の仲間が、OBだから手伝うよということになり、一番線量の高い、小国地区と、富成地区を除染した。

富成地区は、プールに入れないので、プールの除染をするということになり、父兄も手伝って、その頃は、非常に不安に思っている父兄が多かったが、放射能もちゃんと管理すれば大丈夫ということであつた。しかし、プールの水を流せないんです。放射能が高いから田んぼに流したら困るということだった。

その時は300~800ベクレルと高かった。当時の飲み水は100ベクレルですから。それを、落として、最後は、7ベクレルにして流した。それでも父兄は泳がないと言ったが田中さ

んは大丈夫だと言い、その夏はプールで泳いだんです。

田中先生は今原子力規制委員会の委員長になれましたが、本当に御世話になった。

#### 【司会】

不適切除染が行われていると話題になっていますが、伊達の場合は、保護者や地域住民を巻き込んで、目の前で除染をするのだから、地域と伴にやっているの、不適正なことなんてできないんだよね、というお話が印象的でした。放射能除染も、支えるのはやはり、地域力だということですね。ぜひ、この現場で、肌で感じていただければと思います。

これにてウエルカム鼎談、終わりにさせていただきます。御三方に、拍手をお願いします。

誰か、写真を撮ってくれませんか？（写真撮影）

ありがとうございました。

それでは、首長さん方、次の首長会議にむけて、打合せをさせていただきます。

会場の皆様、3時半に再開します。その間、情報交換をしてお待ち下さい。伊達の物産の販売もしております。どうぞご覧ください。

#### 【休憩】 3時半再開

#### 【司会】

時間になりました。よろしいでしょうか。続きまして、第2回首長会議の開催をいたします。万事、古川議長におまかせします。

#### 【古川佐賀県知事】

時間になったのですが、まだ集まっていないという…。雑談から（笑）

首長サミットですが、120分、10人の皆さんに意見をうかがっていきます。1回当たり約3分間の4回の発言で行ってください。4回やっても時間が余る人は、5回目もありかと。

その中で、自分はこうなんだ、という話もあると思うが、どのタイミングでも結構なので、今から申し上げる話のうち、本質的な話を1つを入れていただきたい。

最近、関東の方で、定年退職を前にやめる公務員が多い。佐賀県も1月1日に条例改正をした。まったくない県もある。これについて、どう思われたか、がテーマ1。

テーマ2、地方公務員も給料を減らせ、と言う動きをどう思うか。

テーマ3、史上最大の緊急対策。

こんなことで悩んでいる。テーマ1から、3つのテーマのうち、1つを入れてご意見をいただながら話をしてください。

全員が揃いましたので、これからはじめていきたいと思います。1つ目、第一部は、首長連合サミットで、地域でがんばっている飛び出している職員を応援していこうというこ

と。

皆さん、資料、プログラムを見ていただきたいのですが、このプログラムの5ページに、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合、3つ星首長の基準がある。その1、その2、その3、と。

この首長連合サミットに参加していただいた皆さんには、3つの基準に照らして、この1年間、どうだったかをテーマに話してほしい。

初参加の方は自分がやってみたい、という話でもかまいません。

発言順番はない。第一部のテーマ、三つ星首長のテーマに対して、この一年どうだったか、これからどうしたいかご発言いただければと思います。どうぞ。

#### **【谷畑滋賀県湖南市長】**

去年、第一回のサミットで、優勝させていただきました滋賀県湖南市の谷畑です。3つ星首長の基準ですが、取り組んでいかなければならないと思いました。

地域に首長自身が飛び出していくことは、普段からやっていることです。実際に、職員に、公務とは別に、飛び出して活動させることはどういうことをしなければならぬかという、「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」と名刺に入れるようにして、これを見せてお話をしている。

地域に飛び出すよ、と言っていますし、地域の広報誌にも、年に一回、二回は触れている。今、この地域に飛び出すときに課題になるのは、「地域の子」、地域の人たちに公務員が地域に出て活動することが、プラスになるということを理解していただく環境作りをしていかないといけない。

職員自身も地域で活動していますし、職員が、地域に出て行かざるを得ないシステム作りをしないといけない。アドバイザーにならないといけない。そういった仕掛けをさせていただいている。昨年からはまったのですが、1、2歩と進んでいる。

#### **【多次兵庫朝来市長】**

市長もおっしゃいましたように、自らが地域に飛び出すことは自分の意思に反して飛び出せないこともある。認識をしています。

プラスワンで、地域に飛び出している職員への後押しについては、部長会、全体会の訓示でも、毎回のように話している。昨年のサミットで名刺に記載する話が出ていたが、まだできていません。名刺をすてるのがもったいなくて。自分で判断せざるを得ないということになっています。

職員は、温度差があるが、それなりに、地域に出て、しっかりと、市役所の職員として、認識を持ちながら、活動、情報提供をしている。三つ星の首長としては、こう思っております。今後、胸を張って3つの星がいただけるよう、がんばりたい。

#### **【古川知事】**

ありがとうございました。

今日のプログラムの中に、力作の調査がある。資料編の23ページ以降ですが、各自治

体が地域に飛び出すことに、どのような支援策をやっているかまとめられています。

そこを参考に、見ていただきながら、これは、今使うよりは、それぞれの自治体で考える時の、参考に。

39ページのところからは、職員全員に聞いたわけではないが、いろんな形で、アンケートをして、飛び出す公務員を増やしていくのに、どうしたらよいか、ネックになっていることは何かとか、首長の皆さんも、参加者の皆さんも、見ながらご発言を。

#### 【戸田兵庫県多可町長】

こっちから順番にまわってきましたので。

初めて参加した兵庫県多可町の戸田です。3つ星首長の基準ははじめて見ました。

その1、首長も一住民である。元気よく「はい」です。どんな地域活動をやっているかという鹿柵の点検です。3ヶ月に1回点検している。その他、お寺の活動や地域活動をしている。

その2、プラスワンに関して、日頃職員には「聴心器になれ、歩聴器になれ。」と言って、役場の職員として診断する。住民の人の「心」を聞いてくる。「歩」いて聞いてくる。できるだけ、情報の発信をしてくださいということです。私もそうします。アンテナを高く持つ。

その3、その点検できる仕組みというのを作らないといけないなと思う。やってる動きが見えること。伝えていく、という仕組みを持ちます。かなりの職員がやっている。こういうイベントがいついつあるよ、というのが分かる仕組みを持ちます。TVも持っているので、職員の仕事を確認できる仕組みがあります。

#### 【古川知事】

公式 facebook ページを持っているのは、どれくらいありますか。1, 2, 3, 4・・・分かりました。

ちなみに、部下職員から、友達申請がきたらどうしますか。友達申請は、全部 OK にしていますか？

#### 【?首長】

基本的には、メッセージがきたらスパムみたいだな、というのは外して、すぐ受ける。

#### 【古川知事】

メッセージをつけて、友達申請してくる人、多いですか？

#### 【?首長】

半々ですね。

#### 【古川知事】

知らない人からきたらどうしますか。友達じゃないだろう？みたいな人から来たら。

#### 【?首長】

開かないといけないかな、と思って、ある程度受けています。

#### 【?首長】

時々、上司が、今日いいのがあった。ウソか、本当か、確認したことがあります。逆に、プレッシャーになったりして。

### 【白石愛媛県松前町長】

マツマエは北海道。去年は、松山市で開催してもらいました。今回は伊達市ということで、上野、大宮からすると、新幹線の沿線は雪景色。福島に降り立ちました。

私にしてみますと、雪国というのは、第2のふるさと。若いころに、山形に4年間住んでいました。山形の豪雪も知っている。そう驚くことではないですが、久しぶりに雪景色を見ました。

いろんな機会に、職員に地域にでて、ボランティアとか、会議を開いて指示することはしていない。本来なら、それとなくやるのがいいと思っている。開くたびに、そういう話をしているが、地域に飛び出す公務員は、普通地域と言え、同じ地域だと思うが、(市内であれば市) 地域外へ飛び出し、東日本大震災で、宮城県の山元町に応援にいった。そこに行った職員が中心になって、ボランティアで何度も自主的に活動している。山元町にいて。公費で支援はしません。これは、ボランティアです。ただ、ポケットマネーでカンパはします。

非常に、いい活動をしているとうれしく思っている。住民にそういう話をすると、町の職員がそんなことをやったことがない。職員がボランティアから帰ってきたあと、山元町の職員が結婚をするので町長のメッセージをくれと言われたことまであった。誰だか知らないが、送ったら、大変喜ばれた。地域に飛び出す公務員も大事。

### 【仁志田福島県伊達市長】

順番で私です。地元伊達市ですが、前回には参加できなかった。

三ツ星首長の条件というのは、前からあったのですか。初めて見まして、私は、この3つの項目はなかなか難しいなど。

職員にプラスワンで、というのは、首長も一員になってということです。田舎なので、肩書きはつきまってくる。一住民といってもそうは行かない。むしろ、自分の仕事で、現場、地域に飛び出すというのは、大事になっていると思う。

放射能対策の中で、皆さん、ご承知のように、仮置き場、除染するとどこにおくかということになる。仮置き場、住民の土地を借りてそこに置く。その地主が良いと言っても、まわりの住民が反対する。除染はしてほしいが、仮置き場はきてほしくない。それでは除染できないでしょう？ということで、職員がその話をする。

中山間地があるので、地域おこし支援員を募集し、今10人いる。

伊達市は、今、Smart Wellness City しているのをしている。これも地域住民の理解のもとやる。それも、反対されたりいろいろあって、やらないといけないと、説得工作した。

そういうことでは、うちの職員は、全部ではないが、仕事の必要性から、地域に溶け込んでいく。これは、そういう意味では、現場、現実、現物、行政でも同じ。そこが第一。

結局は、どんな地域の集まりに言っても、どぶさらいを一緒にやっても「これなんとか

しろ」という話が出てくる。

かなり、違う仕事プラスワンは難しい。伊達市の場合は少しずついいほうに行っていると思う。

#### 【竹内福島県会津坂下町長】

会津坂下の竹内です。初めて参加します。

3つ星首長の基準は、「へえ」と思ってた。実際は、われわれも住民であり、職員も住民であり、私サイドで作っているのではなくて、住民の判断。そういう条例。当然みんな理解していると思うが、なかなか、うまくいかないなど。

住民側からは要望してくるのはそうだが、職員の方から、参加していかないといけないのは分かる。

私もいつも職員に言うのは私も13年、14年目なんですが、職員を何とか、外に飛び出させて、動かすのに、10年かかる。どっちかという、田舎の方の公務員は、世襲制。変な先輩の頭を見てきている。今の時代にあった感覚になっていない。それはおかしいと。

13年前に、みんなに聞くと、どここの町村でこうやってる、だれだれはそうやっている。必ず、そういう答えがかえってくる。

公務員に聞くとやるまでに、物事を頼むのに、3年かかると。そういう職員に、自らなってきたのかな、と。

災害があって、指示系統はあって、出さなくても自ら飛び出して、自分の有休を使って、宮城県の松島町とか、自分で飛び出していく。ボランティアで職員もけっこう行っている。私の知らないところで活躍してくる。逆に、松島の市長に歓迎された。いいなあと思う。私自身もそういうふうにしていきたい。

#### 【椎名千葉県山武市長】

千葉県九十九里浜のところにあります、山武市6万弱のところ。自己採点であります、1つ星しかないかな。

今日も第1回のサミットにも出席できていないが、少し元気のいい部下がおりまして、facebookは公式のものはありませんが、かなり発信は個人的にしてくれている。その職員から、どうしても出られないので、代わりに出て来てくれと言われ来ました。

もう少し、皆さんから学んで来い、というのが今日の出席の理由です。参考にさせていただけたらと思った。

私の名刺は、印刷費を節約するために、片面で済ませている。こういうことをやるのであれば、両面でもいいかなと思う。それから、協働という意味で公務員が外に飛び出すということで、市民の側が行政と一緒にやろうということで入り込んでくれることを目指している。

職員が飛び出すという意味では、田舎なので、地縁社会なので、皆さん方、飛び出していった様々な刺激を受けてこようということが中心になっており、様々な研修を受けている。神社とか行事、災害ボランティアなどにも参加。

私は、実行委員方式でやっている町内50キロ歩きというものに一市民として参加している。

#### 【古川知事】

山武市は東京都市圏との距離感は、どうでしょう。市民の方は首都圏に通勤通学する人が多いのですか。それとも地域の中で完結しているのですか。

#### 【椎名千葉県山武市長】

ギリギリ、通勤圏を外れてしまったところです。高度成長期に無理をしたミニ開発があり、人口が倍になったが、今は人が離れていって、古い住宅が、問題になってきている。隣町は単独で市になって、そこまでが通勤圏なんです。残念ながら通勤圏ではなく、空港からも40分なのですが、積極的に利用できていない、ということ。空港を活用する攻めの姿勢で何とかしたい。

#### 【小坂千葉県酒々井町長】

去年に引き続き参加しました。3つ星市長を切る、ということですが、私自身も田舎育ち。学校を卒業した後は、地域と密接につながってきていて、消防団活動から始まり、行事、自治会等、首長になってからも一人の住民として参加している。あまり、参加するので、本当に仕事やってるのかな？と思われるかも。そういうことで、活動はさせていた

いている。

次の2はどうかというと。町のほうは地域担当職員制度を作っている。この制度の中で、各地区に2、3人の職員を配置して、地域の人と話をする。住民のところ、行きたがらない職員が多いが、仕事の上でやるだけでなく、地域に帰っても、やっていただきたい。住民の方から厳しい言葉があると思いますが身を以てやってほしい。役に立つ人。地域住民と地域作りが出来る人になってほしいと思う。

3番目の職員はどのくらい役所を飛び出してやっているのかというと、私どものところも、首都圏から50キロ圏に入るところで、まだまだ、私達の町役場は3分の1は町内の人。3分の2が外の人。うちの町より地域色のあるところから来られている。

ここにも、私の室長がいますが、祭りの季節になるとソワソワしています。地域の寄合とかあって、早く帰ります。それは大いにいいこと。どんどんやって欲しい。それなりに、なんとか意識改革が進んでいるのかなと思います。

なかなか、違う方もいらっしゃいますので、このような人たちをどうやって、自分が地域の担い手になれるか、心の中から思っていたらどうしたらよいか。悩んでいるところです。

#### 【藤野東京都武蔵村山市長】

初めて参加します。3つ星首長の基準、初めて見ました。

去年ホームページで見まして、私が既にやっている、こういうことが始まっているんだと思った。東京都の武蔵村山市から参加しました。東京都は23区、26市、その中の武蔵村山市。東村山市と間違われるが、なぜかという志村けんがいますから。武蔵村山市



をもっとメジャーにしていこうと思い参加しました。

間違いなく私が、3つ星組長の基準にマッチしているなと思いました。なぜかというところは市の職員でした。30数年前に、係長の承認試験に受かった。その時に昇任した人のコメントが出されるが、市民のアイドルとして、地域に愛される人になっていくと書かせていただきました。市長になり、退職した。自治会長をつとめたり、消防の分団長を務めたり、地域で活躍したからこそ今の市長としての立場があるのかなと思う。

今私の行動では、市民が3人集まれば、市長がいる。ということで、市民との直接対応を大事にしている。その中では、特に、職員の面接試験で、消防団や自治会に加入していますか、とか、どんな役についていますか、消防団に入っています合格、とか冗談ですが。

差別ではなく、地域を大切にしている、地域と触れ合って、市を盛り上げていこうという気持ちを持っているので3つ星首長は間違いなく、私であろう。と思っています。

食の祭典という、自治会対抗のフードグランプリを作らせていただきました。一生懸命職員が手作りで頑張っています。小学校区を単位に職員、地域担当制をさせていただいています。

#### 【古川知事】

一言で言うのは難しいと思いますが、武蔵村山市というのは、どういう感じの地域なのですか？マンションとか、ずらーとあるとか。

#### 【藤野東京都武蔵村山市長】

新宿から30分。東京都で緑が一番多い。鉄道が通ってない武蔵村山市。今市民の足はバスだけ。もう一つPRですが、東京都では国体が開かれます。9月7日に東京オリンピック招致になる。認識が低いかと思いますが、東京オリンピックにご理解を。

#### 【古川知事】

国体は、注目しています。岐阜でやったような国体を来年、東京でやる。東京は障がい者国体も一緒にやっていると理解している。東京オリンピックも、藤野さんもおっしゃっていますが、東京オリンピック・パラリンピック、と言っている。いずれにしても東京オリンピック・パラリンピックの招致が実現する、ということで予告をされたわけですね。

起動交通がない唯一の市なのですね。マンションが並んでいるイメージは間違っているんですね。緑が豊かな町ですね。職員は武蔵村山市の方が多いのですか。

#### 【藤野東京都武蔵村山市長】

間違っています。私になってから、職員は地元の人が多い。

#### 【古川知事】

印象から言うと、初参加の人の方が主旨にあった活動をされているかなと思います。また、首長サミットを機会にして、われわれの主旨は、地域に飛び出す公務員を応援する首長としての活動をお願いしながら、職員の応援もお願いしたい。

それでは、第2部ですが。第2部は、今回のサミットまでに、いろんなアンケートをしています。参考になるような政策をしているところもあり、なかなか、うまくいかない原

因は、どの辺に原因があるのかもまとめていただいている。その状況を見ながら、そうした、地域に飛び出す公務員を育て、応援していくには、何が必要か。どうしていったらいいか。これについて、フリーな意見交換を。どうでしょうか。

#### 【多次兵庫県朝来市長】

積極的に、地域に飛び出していこうとする職員には、積極的に応援していくのは当然のこと。先ほども、職員の半分以上が、飛び出して行っているのかというのが、首長の話しの中にあっただが、半分以上が、そうしているだろうと思っている。

現実問題そうだろうと思うが温度差がいなめない。これを同率にするということ。温度差を否定できないが、一方で、自己判定。どれほどのことが必要なのか、地域にとって、自分にとってどうなのかを一年に一度くらいは、自己反省も含めて、今後の思いも含めて、みんなに知っていただくことをやってはどうか。自覚も出てくるのではないかと思います。制度というのも、インセンティブを与えるのも大事なのではないかと思います。

新しい制度として健康ポイント制度も取り組んでいこうと思っている。地域に飛び出す自己ポイント。繰り返しになるが、インセンティブをどうしていこうかと。

今日までは市民側からすると市役所の職員だから、やって当然でしょ、ということがあったと思う。今ではそうではなく、市役所の職員だから、出ていかないといけないという職員を育てないといけない。

そういう意味では、自己申告制、自己評価制というのも、1つの方法として生み出していく。光を見出せるのでは。以上です。

#### 【小坂千葉県酒々井町長】

ここです、公務員の地域活動の障害というのを見ている。(42ページ) 本当にそうだな、と思います。公務員の数が、ものすごく減ってきている。財政の話もありますが、そういう中で、この意見は当たり前。さらには、41ページにいろいろ書いてある。表彰制度、これがいいのかな、と思いました。首長からすると、職員に、少しでも気持ち良くいける、インセンティブを与える、これを工夫した形でやっていきたいと思う。

そういう感じで、感想だけで申し訳ないですが、これをやってみたいなと思っている。以上です。

#### 【戸田兵庫県多可町長】

東日本の震災で、宮城県山元町へ1年間行かせています。これは、非常に良かったなと思います。「誰か手をあげてくれますか？」と。強制はしなかったが、手をあげてくれて嬉しかった。

災害は、起こってはいけないが、町の中を一つにする。台風12号災害の激甚指定になった地域です。その時に職員が一生懸命やってくれた。自分のところも水につかっているが、防壁を作ってくれた。本当にありがたかった。私達の立場では、感謝の気持ちを持つことが大事だと思った。

もう一つは、町には色んなイベントの実行委員会がある。実行委員会に必ず職員も参加

させる。生涯学習の推進委員会というのを、役場の組織におきます。その課員が参加する。勝手に飛び出さざるをえない形になっている。

その職員が飛び出しても他の職員がねたむとか、そういうことはありません。

私も表彰する仕組みというのを取り入れたい。年度始めの式または、最後の3月31日に表彰する、というのを今年からとっていこうと思う。

#### 【古川知事】

生涯学習の話ですが、委員会の構成というか、たくさんの職員の人はずらっと名前を連ねますよね。

#### 【戸田兵庫県多可町長】

それも手挙げ方式。それぞれの課で最低1人。それ以外は手挙げ方式です。

#### 【古川知事】

担当課の人以外の人が入っているということですね。役場の職員としてではなく、一人の人間として、入っている。

#### 【戸田兵庫県多可町長】

はい

#### 【白石愛媛県松前町長】

アンケートの結果がありましたが、大きなような回答もあるが。年齢別で、歳をとってくると、地域活動を再開したいと。定年後のことを考えているのかな。ただ、参加しないという理由としては、忙しくて参加できないというのがある。しかし、町長より忙しい職員はいない。そういう理由で地域へ出ない、という感じがする。

職員に地域の活動に参加するよう言うのと、首長としては、住民の皆さんへ公務員は仕事を離れても地域で活動するんだとって住民に理解してもらうことが必要。どうしても、さぼっているんじゃないかとの意見がある。

職員も自分の時間を使って、地域に出て活動しているということを言うことも首長の大きな役割じゃないかと思います。

#### 【古川知事】

42 ページの何が障害になっているか、という意見で一番多いのは、職場での嫌がらせ。答えとしては、記述式で書かれているので、こういうコメントがあったというのは、実際にあったのかなど。忙しいよりも、こちらの方が多いたは。

#### 【?首長】

表彰制度の話でしたよね。今のようなことを考えると、そうでなくても、そういう意見があるのなら、表彰するともっとその職員に対するものがあるのかな。地域に出てやっている職員を変に表彰しちゃうと、ねたみが増えることもあるので、そこは、職員間のムード、雰囲気を見てやらないと。

地域で活動するのは、本来は公務員の仕事としてあるのだろうかということだが、住民からすると祭りをするのが職員じゃないだろうかと言う。

地域に出て活動する、という気持ちが高まってくればいいが、私の方では、なんとなく、町長を使ってやっているとか。全体の雰囲気、ムードを住民の中に、醸し出すとか。

#### 【藤野東京都武蔵村山市長】

私は感じるのですが、業務多忙とか、本人の意識が高いですね。これは、ボランティアで休日に出て、平日に代休かボランティア休暇をとる。そういうことで上位を占めているのかなど。ボランティア休暇も、職員の中のグループ制を活用して、職場の環境作りが大事ではないか。グループ制にしている。グループ制を有効活用して、ボランティア休暇を取ったら、次は私がというふうにこういう機運を高めないと。

私は、政治家なので、マニフェストに基づいてやっている。去年部長と局長にマニフェストを造らせた。HPに載せている。そこに職員のボランティア出勤人数を書こうと思っている。地域に貢献した人数を出そうとしたら、部長から反対されて、のせられなかった。出すことのできる市にしたい。

#### 【仁志田福島県伊達市長】

違った視点で話したい。私は、町長から数えると3期目。当初から、これからの社会は市民協働が大事とっている。市民協働には力を入れた。係りを作ったり、課を作ったり。正直言ってぜんぜんうまくいかない。なぜなんだろうと。結論からすると、椎川さんも同じようなことを言われたが、市民協働といいながら、いろいろやらせようとすると、行政は何をやるのか。結局、うまくいかない原因は、職員側に、市民教育のマインドを持っていないとダメだということ。

その意味では、地域に飛び出すというのは、ある意味当然である。つまり、こちらから飛び込んでいかなければ。市民にどんどん飛び込んできてくれというのは、冗談じゃないということになる。

職員からすると、我々のような小さいところは、飲みに行って隣の客にいろいろ言われる。公務員バッシング。段々町内会など行きたくない。職員なんだから、これやってくれとか。

先ほど申し上げたように、肩書きはしょうがないと思う。職員だから大変だと、私は、民間企業にいましたから、その時につくづく思ったのは、民間企業といえ、飲みに行ったとき、入るのをやめようとか後から入った時に「ビール1本」とか気を使う。職員だから公務員だから、肩書きがあってしょうがない。

#### 【古川知事】

仁志田さんは、もともと国鉄だったんですね。国鉄とJRと両方経験されている。やっぱり民間と行政は違うもの。

#### 【仁志田福島県伊達市長】

違う。倒産するかどうか。初めて町長になった時に、上司も同僚も職員にたいしてきつく言わない。民間企業はいい加減なことをしていると、お前のおかげで、ボーナスが出ないと言う。役人は倒産しない。やってもやらなくても給料が同じだ、というなら、やらな

くてもいいとか。国鉄にいたからよく分かる。国鉄時代、仕事を楽してアルバイトに精を出す人、みんながそうじゃないけど、そういう人もいました。

倒産するかしないか、それが、インセンティブになっている。職員、公務員は、モラルの高い人しかなっちゃういかん、と思うのです。

#### 【古川知事】

倒産するからやらないといけないのではなく、それ以外でもがんばれる。

#### 【小坂千葉県酒々井町長】

3回目の発言ですが、財政が悪いから住民協働みたいなのがあるが、もともと日本は、豊かな国ではなかった。歴史を見ても、大多数の人がそうだった。

その時はみんな助け合っていた。戦後の一次の経済の良い時、みんな楽をするようになり、金を払えば、税金を払えばいい、というそんな感じになってきて、そういう人が多くなってしまった。

今の時代になり、高齢化うんぬん、経済力も落ちて、今の状況が、当たり前時代となっていて、職場にいるときは仕事にベストをつくす。しかし、地域に帰れば自分たちの暮らしている地域を一生懸命になって支えていく、協力していく、そういう気持ちをどうやって理解するか、身をもってやっていけるか。そういうことを、首長として、真剣に考えていくと。公務員は、日本の国自体が法治国家ですから、法律、条令等の仕組みをよく知っている。この人たちが、活動することが財産になる。

住民の皆様におかれては、甘えとか、自分たちも、構成員であるという認識が出てこないのが多い。これをどうやって、やっていくか。生涯学習という中でも、いろいろある。公民館活動もそうですが、楽しむこと、社会的な意義付け、きっちりしていかないといけない。町では今年2年目で盛年式をやっている。60歳になる方をお呼びして、住民活動をどうしているかなど、いろんな話をして、人を養う。いろいろな有名人、名前の通った方を講師に呼んでやっていこうと。公民館活動の遊びというか、楽しむだけじゃなくて、人材作りをしていこうと考えている。来年報告できればと思います。

#### 【竹内福島県会津坂下町長】

2回目ですが、飛び出せる職員ということで、仕掛けが必要だろうと。特に、職員が地域に飛び出して行って、自分たちでいいと思ったらやれよ、と。

地域に対して自立しようと。そのために社会福祉の活動など出来るか、出来ないか、行政からものをもらうのではなく、自立したNPO法人なんかを作って、自分たちでやれよと。そこに職員も入っていけど。特にOBが退職すると、暇になる。退職すると必ずまわってくるのは、地域の自治会長。又続けるとやりたくなる。しかし、そうじゃなくて、現役時代から続けて、地域の人と連携して、自立する立場を作る。

いろんな職員が入って、最初の仕掛けは職員が仕掛ける。あとは運営してもらう。5、6年になるが結構面白い活動になると思う。

#### 【古川知事】

それは、町長がそうやろうと言って、NPOをすすめた？

#### 【竹内福島県会津坂下町長】

そうですね。協働の街づくりを始めた。地域社会も、少子化にともなって、学校がなくなると地域社会もなくなる。それを心配して、公民館からコミュニティ方式に変えた。自主公民館は職員はいない。発展的にステップアップして、町は、ある程度指導はするが、金を出すが口を出さないということ。

#### 【椎名千葉県山武市長】

2 回目です。42 ページ。受け入れ、いやがらせとか。私の市においても、職場の上司の理解がない。長年の職場での蓄積によって、職員が徹底的に外に出ることに、いろんな偏見をもたれない。例えば、先ほど話があったが、早期の災害派遣を1年間、送っていますが、手挙げ方式でも実際に行けなかったのは、上が OK しなかった。下の方になってきますと、どちらかという、さまざまなここに書かれていることが、外に出ることに對しての障害である、だから、自分が活躍できないということの言い訳になることは避けないとはいけない。制度として、しっかりと変えていかないとはいけない。ある程度、区分けをして、対処できるものはやっていかなければいけないと思う。

上のほうは職場環境、下の方は飛び出す公務員の個人的なことと思っています。

#### 【古川知事】

ありがとうございました。確かに制度というのは、何かと感ずることではありますが。今のお話に関連して、42 ページ、下から2行目。その他のところ。「活動が兼業だと疑われる。」これは、なんのことだろうと、不思議に思うと思う。地方公務員ではなく、国家公務員のことだが、地方に飛び出すには、基本的に上司の許可がいるということ。例えば、なにかの審議会員になるとか、無報酬で自分たちの行政に関係のあることはいいですよ、みたいな。それ以外はダメですとか。

地域に関することだと、自治会長やPTA 会長とか、地域に昔からあつて無報酬ならよいということになるが、NPO は基本的にダメとのこと。営利企業従事制限みたいな話になっている。これは国家公務員はダメ。特定非営利活動法人なのに、営利企業になってダメということ。実際に事例があるということ。

制度的に、国家公務員の人が地域的な活動を阻害しているのが、今回のサミットをきっかけに分かっていった。

いろんなお役所に運営をどうしているか聞こうとしたら、国はガードが堅い。自治体は情報公開条例があるので、正面からいっても取れるが国の役所はとれない。ガードがかたくて、なかなか分からなかった。われわれが真剣に議論するかはどうかだが、我が国の制度が、現状に追いついていない。もう少し調べてまた分かったら、報告させていただきます。

#### 【谷畑滋賀県湖南市長】

今の NPO の話は、目的は非営利だけど、法人の運営は営利の部分もある。グレーゾーンだと思う。42 ページを見て思ったのは、住民との関係でのクレーム。さっき公務員の OB

の組織の話があったが、活動する公務員については歓迎するが、地域において、きついクレーマーは、公務員の OB である。OB のネットワークを作り、そういうところの啓発ができればと思います。

公務員批判については、地方公務員の給与の削減については、全国市長会としては絶対反対ということ言っている。時々、全国町村会長から聞こえるのがこれだけ頑張っている、これでは困ると。これとのからみで言うと、地域に飛び出そうとしたら、公務員も生活がある。公務もしっかりしなければならない。その上で、はじめて飛び出せる。公務員は失業手当もない。そういった中での活動。

国の財政的な考え方で切り刻んでしまうことが、よいのかどうか、議論しないといけない。自治の話とも別。地域に飛び出す公務員の立場からは、生活はどうするか。民間とは違って、カットされると士気が落ちる。さぼろうかなという後ろめたい気持ちになる。そのところは、しっかりと公務員の特性をおさえた上で、いろんな面での処遇を考えていけない。民間と同じ行動パターンでやると、あやうくなる。

#### 【古川知事】

ありがとうございました。

#### 【椎名千葉県山武市長】

3回目です。公務員の給与引き下げの話でしたが、退職金も、埼玉県が話題になったが、市のほとんどが、組合の補助金がある。7つだけ単独。のこり 30 くらいは組合。千葉県は 3月1日に引き下げるという調整がされている。それを聞いて、即座に地域内で話が出た。反対。結果的には、千葉県は4月1日になった。2日目、3回目も1年おきにしようとなった。2月25日の議会で決定になる。そこに提案がされるということで、一安心。

この話が出て、県で違うのかもしれないが、3月1日は議会の真っ最中。駆け込みで、退職金をもらって…そんなことが出るのが、そもそもナンセンス。しっかり仕事をして、後輩に託していくのが。もし、駆け込んだ場合は、後ろ指を指される。士気という話もありましたが、そういった個人のモラルに頼るのではなく、できれば、当たり前納得できるのが大事。

#### 【古川知事】

ありがとうございました。

#### 【竹内福島県会津坂下町長】

給与の問題、退職金の問題は、今おっしゃったように、私の県では、共済の掛け金がなくなってパンクしそうでなんとかしないといけないということが先。そんなところで、騒いでいるところではない。きちんとした、従来通りの制度の中でやっていくべきだと。

福島県の中では話が出てないが、できれば、定数が削減しているので、かける職員がなくなって、退職金をもらえなくなるんじゃないかと、将来的には。国の人事委員、県の人事委員に速くやれといわれたが、従わなかった。なんとなくみんながしているから、今回も、いわゆる、国の理屈が全然分からない。もっと、説明して、やっと民間に地方公務

員が追いついてきた。平均給与を処遇しながら、これは判断は、各市町村に任せた方がいいと思う。

#### 【仁志田福島県伊達市長】

いいですか。3つのテーマのうち、1つということでしたので、私は、3点のうち1つ。公務員の共済組合について、私は、こういう問題は押し付けるものではないと思うが、身近に感じている。3年前に市長2期目の選挙があった。

選挙になったとき、相手候補者が、30%給与カットすると言った。福島県ではそういう人が多い。それで、私は50%なんていう首長もいた。そしたら、私の陣営が、これはまずいので、あなた宣言しろと行ったが、断固、受け入れられなかった。我々の給与は、高いか低いかではなく、議会、正当に決めてもらわないと。そういうことで投票することがなっていないと思うが。もちろん選挙民全部がそうではないが、そういうやり取りがあって、結論は、そういうことがあっても、選挙なので、受け入れられないと。

公務員バッシングでも、公務員は、給与が高いといわれているが、そういうことで下げるのはナンセンス。今大事なことは、民間と何が違うかということ、そこが違う。要するに、同一賃金ではないということ。共産党的に言えば、みんな同じくと。働くもの、働かないものと同じはおかしい。そういう主旨だと思う。

ここに来ているような職員はそうではないが、そのような給与体系とすべきと思う。

#### 【谷畑滋賀県湖南市長】

3回目です。給与の問題ですが、税収にスライドして職員の給与を決める、そういうような発想を昔から持っていた。人事院勧告とかで決めるのはおかしい。昔、人事担当と話していた。うち自身（市）の民間の平均給与を調べたら、同じようなものだった。国が地方交付税を人質にとって財政論だけではだめだと思う。

35ページの人事評価です。直接的に給与にかかってくることは、飯田市さんくらい。あとは体裁的に見て頑張っているねというところですが。

ここが実際に評価ができる、と、どんどん地域に出て行くインセンティブが出てくる気がする。先ほど話にあった、SNS制度の貢献度。よその自治体で知っている職員の数などで評価する。今まではまず、公務があって、その余暇でやっているということだが、地域活動は並列なんですよ、ということ。評価とからめると、そういうことかと。

#### 【古川知事】

ありがとうございました。

#### 【戸田兵庫県多可町長】

緊急経済対策についてです。楽しみながら話します。アベノミックスですが、「景気」は、字が変わったのかなと。「景期」。期待の期になったのではないかと。いいのかは疑問である。

生産年齢減少、若者の所得が減っていると書かれてる。問題の解決になっていないのではないか。違う部分にお金を入れるべし。



給料を下げてはいけない。むしろ上げるべき、もう一つは、結婚支援に力をいれる。TBSのモテモテナインティナインに出ます。

この番組、どうやってよんだのか？特別なことはやってない。アンテナを高くして、職員が正規のルートでいった。女の方は600人の応募。史上最高。多可町がきれいに写ったのか。よんできた職員に対して、現地の撮影があったが、600来られても困るので、120の制限をかけた。おこしになって、どうもてなすかを一生懸命考えた。終わった後、手をあげた職員を表彰してくれと住民から言われた。

表彰制度をずうっと思っていたので、TVからもここまで協力的な自治体はなかったと言われた。2時間特集の予定だった。撮影の方も盛り上がった。できたら、3時間にしたいねと。特番で組んで欲しいと私もお願いした。多可町がうつりますので、TBSをご覧ください。いずれにしても婚活支援に焦点を。

### 【古川知事】

ちなみに、やりたいと言えば、TBSは話しは聞いてくれる、ということですね。

### 【多次兵庫県朝来市長】

少子化は大きな問題ですね。婚活支援活動には力を入れている。いみじくも、モテモテナインティナインで次に映るのは宮城県の角田市です。角田市には朝来市から1000人を超す職員を被災地支援で出している。当初からやっているが、角田と私の方で、大災害の支援協定を結んだ。遠隔地での自治体の人支援。そういった内容の協定を結んだんです。角田でもやると出たので、市長にPRして。そんなことが余談としてありました。

給与に関しては結論的には、今日までも給与削減している。行政改革もしっかりやって、職員の給与を下げることはないだろうと。

市民の中には、まだまだ、公務員に対するバッシングも根強くあるのは事実。公務員は恵まれているよと。

今のような話、地域に飛び出し市民といかに情報交換していく職員がいるかが、大事と思う。職員に対しては、給与を下げるかは、きちんと対応していきたい。公務員の気持ちを、再確認する必要があると。強く感じている。

経済対策についてはトンネル事故のことなどから、私どもも道路の耐震など、橋の耐震、学校の耐震もあるが、緊急対策が大事なのではないかと。地域の思いで使える緊急対策支援が必要だと思う。地域と地域を結びつけるように。寂しくなるのも事実です。何を言っているかわからなくなりましたが。

### 【藤野武蔵村山市長】

公務員の給与削減は、人件費の削減は十分行われているので、東京都市長会も断固反対している。武蔵村山市の例を取ってみると、8年連続で削減している。一つ参考にしてほしいが、東京都は、地域手当、東京はマックスで18%。給与下げると地域手当を上げてくる。東京はそういうシステム。

武蔵村山市に国家公務員の官舎がある。国家公務員は地方公務員に比べて、福利厚生が

恵まれている。タクシー券もある。大変恵まれているので、地方公務員にこれ以上無理はさせられないという大きな認識を持っている。

経済対策では去年、市の公共事業、6本、不調に終わりました。入札が。東北地方の復興のため、一番、低い業者とやるが、とてもこの金額ではできないと。職人さんたちが東北に流れていく、どうしても入札価格で落ちないと。心配は、経済対策は、一年間入札制度で応札してくるか。けど非常に賛成しています。

対策をどうするか。H25当初予算に武蔵村山市は公共事業を盛り込まなかった。今までの例から、国の当初予算に計画されていない事業に限ると、過去にもあった。もし公共事業を国が認めないとダメなので、6月補正を考えている。

### 【古川知事】

今回は平成24年の補正としている。24年度補正するといろんな意味で、窮屈になっていると思う。実態的には本当は25年にやろうと思って、前倒しで持ってきているので、25年度はスカスカになって、できそうにないのを、入れないといけないとか。

国は24年度補正にしたので、こっちが25年で受けた時に、事業ができなくて、H26に繰り越しができるか。相談しても、「繰り越しなんてしないでくれ」と言われる。したらどうなのかと聞いているのに。不落の話は東京あたりまで話がきているんですね。

今、被災地に派遣している土木の職員がいるが、現場をいくつ持っているのかというと、1人の職員につき1つ。佐賀県では1人3つくらい抱えている。今度、緊急対策なので、5つくらい持ってもらわないと。宮城県の方が不落が多くて、力を持って余している。3万かかるといっても建設単価ではそうにはならない。なかなかうまくいかない。

3割か4割しか、きちんと落札していないと聞いている。だから全国的に、大きな発注がきている。かといって、建設会社と話をしても1年とか2年で仕事なくなると分かっているなら、若い人を雇えないという。やめる人の、定年の再雇用を、1、2年延ばすことはできるけど。なかなか、さばききれないのでは。

### 【白石愛媛県松前町長】

私のところも、退職金は4月1日にしました。そういうことがあるだろうということで、4月1日に。あのように書いているが、いかにも、モラルがないように言われるが、人間はそんなに強くはない。100何十万減ったら、辞めるんですから、なんといわれても。

国の制度がおかしい。地方公務員の給与にしても、国から命令されてするのではなく、交付税を減らすぞ、と言われれば仕方ない。われわれも議論はするが、国の方が命令口調では、生意気な感じですが抵抗しないといけない。

### 【小坂千葉県酒々井町長】

4回目です。退職金の削減について。私のところも、7市2町ある。組合長の名前を持って、県の方に要請した。4月1日になると聞いて安心したところ。

交付税削減の話だが、国会議員が制度を組む、その中で、自分たちの定数は一向にやらないで、交付税カットとか、地方議員もカット、勝手に決めて、こんなことをやっ

は、ほとんど、国民から納得されない。立場が変われば、コロコロやっている。国会議員がもっと理性を持ってやっていくことが必要。常々、腹が立っている。

経済対策ですが、安心安全対策と聞いて、大丈夫だろうと思うが、情報が非常に少ないなど思う。あくまでも、24年度の補正ということと25年度を繰り上げて補正する。中身が2つあるようです。24年の補正は、交付税は裏で面倒を見てくれない。聞くところによると、余った金を使うんだということでした。うちは応募しませんでした。25年度先食いするやつだけ応募させていただいたのですが、公共事業をするときの裏負担を必要最小限でやっていくのが、一番かなうのかなど。その辺の情報に苦慮している。

こういうときにそのへんのヒントになればと思っている。非常に重要なことだと思っている。

### 【古川知事】

ありがとうございました。

私は私で、知事同士でのメーリングリストのようなものをやりますがうちはこう、お宅はどうしてる？というリアルな情報が入る。今回は特に情報が出なかった。今日聞いてきたが、なるって言ってたよとか。よその知事が教えてくれた。こういう時にこそ、首長のネットワークをうまく使って、市町は市町で話す方が、共通の部分が多いのでやってみてはどうでしょう。

この話も含めて、盛り上がっていますが、又時間がとれたら続きはやるとして、首長連合の最後のテーマ。今後、どうするかというので、先程から表彰の話がでていた。これから考えていきたいということだった。

戸田さんのほうからテレビ番組を持ってきた職員に町民から表彰したらどうかというのはする予定？一般的に職員表彰の一つですか。

佐賀県にもよく頑張って誘致しましたねとか。功績に着目したものはしばらくやってないんです。私はやりたいな、と思っている。

職員と議論していると、やったやらないの話じゃないけど、こっちをやったなら、こっちもやれということになる。私は毎年、もっとやればいいじゃないかと言っている。

例えば、救急車にiPadを乗せて、救急隊員が病院にこんな患者を連れてきましたと入力することを佐賀県では入れている。この病院にはこの患者が入っていると分かっているの、その情報を見て、次に救急隊員が次の医者が使える、というのが分かっている。搬送時間が短くなったり、全国に広がっている。これは試しに職員自らが救急車に乗ってみて、分かった。これまでは病院が決まるまで動き出せなかった。どっちの方向に走っていいか分からない。やっと受け入れ先の病院ができて、走り出す。移動システムはあったが、医者を入れることになっていて、医療機関は面倒くさいから入れていなかった。この情報は誰が欲しいんだというと、救急隊員が欲しいんだ。じゃあ、なぜ入れないのか。一刻をあらそうから、忙しいんだと。

彼は、行ってみて分かる。搬送後は時間がある。どうせ、その病院に記録を残さないと

いけないから、そこにしばらく残る。なぜ、iPadにしたのか。その時間に入力することができる。現場から携帯をいじっていると遊んでいるように見える。だから、iPadにしてくれと。オレンジ色のカバーをつけ、目立つものにして、遊びとは違うと見せてほしいと。表彰すべきだとがんばったが、彼だけが頑張ったわけじゃないと。

それから、協働化テストとして県庁の仕事を他の企業ができないかという仕組みをつけたのだが。それが国連に表彰された。その担当者を表彰しようと思ったが、あれだけはやめてくれと。この事業は職員から評判が悪かったのだ。

たまたま国連で表彰されたが、華々しくしないで、毎月1度出している職員向けの広報誌で出してくれといわれた。こんな感じで（表彰は）なかなか難しいが、あきらめていない。きちんと仕事をしてくれた人には表彰したい。気持ちのプレゼントをしたい。

提案があったのは、自治体のことはそれぞれ考えるとして、飛び出す公務員の表彰をやってみたらどうかと。それについては、いかがでしょうか。

#### 【? 首長】

いいんじゃないですかね。

#### 【古川知事】

いいんじゃないかと。あっさりと。もともと、飛び出しているわけだから、心配することはないような気がします。いろいろ検討させていただきます。注意すべき点、提案はありますか？

#### 【椎名千葉県山武市長】

先ほど、皆さん方の表彰制度を作ろうと言う時に、私が作ろうとして、難しかったこと。できれば、市の中に飛び出す公務員がたくさん出てきてその中から表彰するのであればいいのでは。この会で表彰制度を作るのはいいことだと思う。

#### 【古川知事】

他にありますか。表彰はやることにして、それ以外で何かありますか。

#### 【谷畑滋賀県湖南市長】

前回もこの場で提案して、事務局に宿題にしたが、年に1回集まるこのサミットだけではなく、こまめに集まれるブロック毎のネットワークを作るのが大事だと。組織化ができないか。もう一度、投げかけたいと思います。

#### 【古川知事】

分かりました。去年提案がありました。私も事務局のみんなと議論したが、どういう理由でどうなったかわすれたが。ブロックによって、多いところと少ないところがある。ブロック単位にしたときにどうやっていったらいいのかなと。しばらく見送ろうということにしています。

また、お話があったので、一つの考え方としては、比較的、西の方はいる。例えば、近畿だとか、西日本だとかは、そういったところで作るかな、あるかなという気はしました。

我々（全体サミット）がもうちょっとやらないと事務的な負担が増えるだけではないけな

いだろうと。年に1回の首長サミットだけではなく、ブロックでやっていく意味をきちんと作っていく必要がある。また、相談させてください。

#### 【谷畑滋賀県湖南市長】

意味は、もっと首長と濃密に、お酒を入れての絡みができるのではないかと。一つだけ私的なことですが、福島で開いていただいたのは嬉しい。実は、隠れ福島県人。母方の実家は郡山。今回、福島が大変だと言うことで出来る限りのことはしたい。市長会でも福島原発に、引きつれて、入りました。

#### 【竹内福島県会津坂下町長】

福島県の復興について。最後の発言になりますが、会津を中心にして、「八重の桜」好調に視聴率があがっている。会津と京都と、撮影が進んでいる。ハンサムウーマンということで、会津には女性しかいないのかといわれるが、生きている姿、明治維新、近代国家を作った頃のドラマになりますので、ぜひご覧ください。1月に会津若松市にドラマ館。春になるときれいな桜が咲きますので、ご紹介します。

#### 【戸田兵庫県多可町長】

本当に最後です。山に登りながら考えた。「とにかくこの世は住みにくい」漱石がいつていることですが、草枕は明治40年に書かれている。時代が変わったと言わんとしている。夏目漱石はその時代は、順番に来るんだと言っている。成熟期を迎えて、利己主義ではなく、利他主義。まさに、利他の時代。

飛び出す公務員は、利他にいつている人だと思う。時代が合ってきたと思う。「学問のすゝめ」といつたときは福沢諭吉を思われる。むねはらたけしさんの学問は楽しむ方の「楽問」。利他を組み合わせたらもっともっと応援する人が増えていくのではないか。首長連合の「お約束」といつことがあるが、「ゆるく」「その都度」「適切に」のところ利他に生きる公務員。楽しむ公務員みたいなものをもっと入れたらもっと楽しいのではないか。

#### 【古川知事】

考えてみましょう。4回発言の権利があるといつて、3回の人もいつました。

最後に、来年の開催地について、先ほど、千葉県。椎名さんのところでいつただけると。椎名市長一言。

#### 【椎名千葉県山武市長】

千葉県、九十九里浜の真ん中辺。東京から40キロほど離れています、小さな市です。来年ということで、受けてこい、といつわれた。

私自身も、未来をどうとらえるかといいつことで、例えば、災害を経験して危機管理として、災害を予想して、どうするか。それを好機と捉え、オプショナルな未来、と職員にいつている。未来に来るだろう好機も捉えろ。せつかくこいつうチャンスをいつただくと思いつます。これから仲間も増やして、しつかり捉えて、準備していつきたい。来年、4月23日が任期。もう一期やるつもり。今頃の季節にいつ願いしたい。

地域に飛び出す公務員といいつことで、この会議で私が思いつているのは、全国に仲間

を広めて、最大のチャンスをとらえていきたい。

小坂さんの酒々井町も協力してもらい、ご支援よろしくお願ひいたします。

#### **【古川知事】**

協力お願ひします。以上でサミットは終わります。

記者の方がおこしなので、質問等あれば、受けたと思います。何かございますか。私に聞いていただければ。これで終わります。

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」第 2 回サミットをお開きとさせていただきます。

#### **【司会】**

会場の皆さんには、アンケートをご協力いただきたい。

このあと、保原駅近くの JA みらいホール保原で交流会を開催いたします。交流会もキャンセルがでるので、どうぞ当日でもかまわないので、参加ください。名札は、交流会に出る方はそのままお持ちください。帰る方は、受付にお返し下さい。当日は、5000 円。

貴重な機会ですから、集合写真を撮りたいと思います。階段のところ、首長さん、座るなり、立つなりしてください。